

タイトル : 歩こう！八日市 ～日本一の大凧、八日市まち歩きコース～
実施日 : 2018年4月20日 (金)

営業所 : アル・プラザ八日市営業所

毎月「八」のつく日に市が開かれていたことが名前の由来である東近江市の中心“八日市”。その八日市を貫く、かつて東海道士山宿と中山道愛知川宿を結んだ脇街道“御代参街道”周辺のまちあるきを歴史を感じながら楽しみました。
途中、地元カフェで美味しい昼食を楽しんだり、八日市のシンボル“日本一の大凧”の実物を見学できる大凧会館や地元の窯元にも立ち寄りしました。ガイドさんに予定外の場所もご案内頂き、天候にも恵まれた為楽しいじもとりっぷになりました。



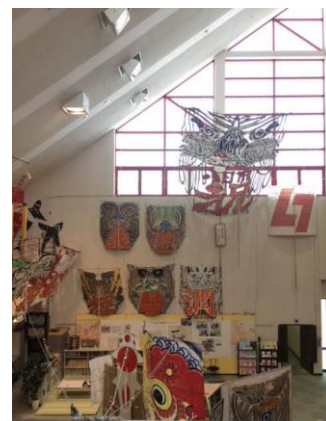
市神神社。いちみやさんの名前で親しまれている。聖徳太子や、額田王の立像が祀られています。



旧住井邸。ヴォーリス建築。建物内部にも入らせて頂きました。



「パンカフェ KOKON」さんの日替わりランチです。地元の醤油を使用した、から揚げがおすすめです。



大凧会館。東近江を代表する伝統文化。100畳敷大凧等、様々な凧が展示されています。



栄町道標。
八日市を通る御代参街道と伊勢超えの八風街道との交差点にある道標。



布引焼き窯元。陶芸家・小島太郎氏が独自に開発した七彩天目の技法で工房前森にいたフクロウのモチーフが有名